

福祉 ユーカリが丘

ユーカリが丘地区社会福祉協議会
 発行人 会長 坪松康隆
 編集 広報事業部
 〒285-0843 千葉県佐倉市中志津2-32-4
 西部地域福祉センター内
 電話: 043-460-1781 FAX: 043-463-4169
 事務局員勤務: 火・水・金の13時~17時
<http://yukari-shakyo.jp/>

「平成21年度を振り返って」

ユーカリが丘地区社協会長 坪松康隆

今年度は新型インフルエンザに振り回された二年でした。佐倉市より「敬老の集い」の中止連絡を受けて以降、インフルエンザ警報が発令される異常な事態の中で、ふれあい福祉まつりの中止や、カフェ・ユーカリ、いきいきサロン、100円喫茶を一時見合わせるなど、安全を最優先することになりました。その後、感染拡大の報告もなく無事に今シーズンを乗り切れる見通しとなった事は幸でした。諸行事を中止したことから、早く友達に会いたいとの要望が多く寄せられましたが、再開したサロンや喫茶に來れた皆さんの笑顔に、福祉委員及びボランティアの皆さんの努力が報われたものと思います。

要支援者のサポート事業に対する検討委員会の答申書が提出されましたが、名称も「スマイルサービス」と決定しましたので、22年度には事業化出来るよう準備を進めていきます。

「ともに歩む福祉プラン」に対する推進委員会の評価は、主要な案件の取り組みは妥当であるとのことであり、今後を着実に推進していきたいと思っています。

3年間に涉り取り組んできた福祉教育推進活動は、学校との協調体制を確立し多くの成果を上げてきましたが、今後も連絡会議を志津小を含め継続していきます。集い関係に一部制約を受けたものの、全体的には順調に推移することが出来、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

お話フェスティバルのご案内

3月27日(土)に毎年恒例の『お話フェスティバル』を開催します。大型紙芝居・人形劇・語りなど、多彩な演目を予定しておりますので、ぜひお越しください。



日時: 平成22年3月27日(土) 10時~12時
 会場: 志津コミュニティセンター
 内容: 大型紙芝居など(予定)
 参加費: 無料
 演目:

青菅小学校PTA図書委員会

「ぼくを探しに」巻紙式紙芝居

劇団 井野つ子

「ヘンゼルとグレーテル」人形劇

志津小学校図書ボランティア

「ぜったいたべないからね」大型紙芝居

小竹小学校4年生による落語と語り

「けちべえ」

「小べんをぐくり」

「とらのあぶら」

志津小学校4年生による語り

「わらわな女」

「ねずみじょうど」

2面: クリーン大作戦のご案内/児童、高齢者に対する虐待を防ぐために/ボランティアのつどいに参加
 3面: 「まちの話題」一楽しい餅つき/大人も一緒に遊びました/〆辻切り、を作りました
 4面: 「まちの話題」いつくるか分からない災害、備えが肝心です/「不審者対応訓練研修会」
 5面: 「スマイルサービス」事業スタートにむけて/座談会&ブロック会議を開催/「認知症を学ぶ」(サポーター養成講座)
 お詫びと訂正: 前号で掲載した「表彰」の記事の中で名前間違いがありました、土屋千穂(誤)→土谷千穂(正)です
 お詫びして訂正させていただきます。

クリーン大作戦のご案内

本年度も中学生・小学生・地域住民と共に世代を越えた交流の場として、街をきれいにする活動を計画いたしました。今年は井野中・青菅小・小竹小に加え、志津小も参加予定。「四校合同クリーン作戦」となります。



子どもたちがスーパの袋を持ってあらかじめ決めたおいたコースを歩きながらゴミ拾いをします。

日時：平成22年3月22日（月・祝）

10時～12時

集合場所：ユーカリが丘南公園および学校

四地区社協合同研修会

「児童、高齢者に対する虐待を防ぐために」

虐待を防ぐために

2月21日（日）10時～ 西部地域福祉センター

虐待を疑われる子どもを発見した時、通告（連絡）することは、法律に定められた義務であることをご存知ですか？（児童福祉法第25条、児童虐待の防止に関する法律第6条）子どもを守ることは、個人情報保護よりも優先し、相談や通告をした人の秘密は守られるという事です。これは、高齢者に関しても同じだそうで、私自身ここまで、通告が重要視されているとは思っていませんでしたので、最初に記しました。

児童に関する事から研修は始まり、いくつか強く印象に残ったことがありました。まず、佐倉市児童青少年課

家庭児童相談班は正規職員5名と相談員2名からなり、県内でもこれだけの数の正規職員を置いている所はないとの事。それでも、年間200件を超える相談件数に対処していくのは大変と思われませんが、関係機関（保育園、幼稚園、学校、民生委員、保健等）とのネットワーク化をはかる事で、広く情報を受け、問題解決の努力をしているという事でした。それから、とても大事なことだと思われたのは、地域が「子育てを見守る優しい目」を持つて欲しいとの言葉です。保健師の方も、虐待を摘発するのが仕事ではない、一緒に良い解決の方向を見つけていきたいと思います。紙面の都合で高齢者についての内容に触れられませんでした。基本は同じだと思います。地域で出来るのは、まず見守る優しい目を持つこと。それから地域包括支援センターの方は、制度（高齢者の場合でしたら、介護保険等）を充分、活用して欲しいと話されました。制度の活用で、人との何らかの繋がりや、コミュニケーションが出来ることで、虐待という事態を阻止することも可能なのだと解りました。

（広報事業部・安川）

虐待では?と思った時の通告先

児童

佐倉市児童家庭課子ども相談班

電話 043-484-6263(直通) (平日8:30~17:15)

043-484-1111(代表) (夜間、休日、祝日)

高齢者

志津北部地域包括支援センター 043-462-9531

志津南部地域包括支援センター 043-460-7700

佐倉市高齢者福祉課 043-484-6138

いんば中核地域生活支援センター「すけっと」
043-483-3781

***緊急の場合は、いずれも110番**

ボランティアのつどいに参加

2月11日（木）志津コミュニティセンターにおいて「ボランティアのつどい」（主催：ボランティア連絡協議会）が行われ、ユーカリが丘地区社協は「手作り品販売ブース」の出店と、体験コーナー「アイマスク体験」のお手伝いをしました。「手作り品販売ブース」では、今年度中止となった「ふれあい福祉まつり」のために志津地区社協と共同で準備していたものを出品しました。また、「アイマスク体験」は2人組みになって、アイマスクを装着した目の見えない人役の人を、ガイド役が目的の場所まで連れて行き戻ってくる、というものでした。事前勉強会で多少の予備知識はありましたが、体験希望者へのアドバイス等非常に難しいと思いました。体験コーナーの参加者は、親子連れや若者、小学生等様々でしたが、まだ小さな子どもがお父さんをガイドしている様子などはとても微笑ましく、きつとよい思い出になったことと思いました。



まちの話題

ユーカリが丘地区社協のエリアには井野中学校の他に、青菅・小竹・志津と3つの小学校があります。各小学校とも地域の方々の協力を得て、米作りやさつまいも作り、餅つき、正月遊び・昔遊びなど様々な体験授業をしています。

43号の《まちの話題》として、12月から2月までの各小学校の体験授業の様子取材しました。(取材出来なかった授業もあります)

ー楽しい餅つきー ーお腹一杯食べましたー

「ヨイショッ、ヨイショ」とクラス仲間の元気な掛け声に合わせて1人ずつ交代で杵を振り下ろし、1クラス5キログラムの餅をつきあげる。恒例になった小学校校庭での餅つき大会は12月18日(金)に小竹小学校で、21日(月)には青菅小学校でそれぞれ行われた。両日とも風があつたので寒いという児童もいたが快晴で、身体を動かすにはちょうど良い、まさに餅つき日和。小竹小学校には葛西教育長も参加して、児童と一緒に杵を振るわれた。

今年も青菅の友野さんの指導を受けPTA、地域の方々、そして社協の福祉委員が協力した。

つきたての餅を餡子(あんこ)と黄な粉をまぶす作業は、小竹小学校はPTAのお母さん達が担当したが、青菅小学校では5年生、6年生の仕事。熱い熱いと言いつつも楽しそうに笑顔で作業していた。「4個食べたよ」「僕は5個食べた」という元気な児童の笑顔が、寒さを吹き飛ばしてくれた。



あんこと黄な粉をまぶす6年生(青菅小)

がんばれ!(小竹小)

ヨイショッ、ヨイショ(小竹小)

◇大人も一緒に遊びました◇ 〓お正月遊び、むかしの遊び体験〓

「家でおばあちゃんと一緒にあやとりをしているよ」「見てみて!お手玉うまく出来るようになったよ」「おはじきが1番おもしろかった」嬉しそうに話す子ども達。

志津小学校1年生を対象にしたむかしの遊びが2月19日(金)に行われた。地元の高齢者クラブのメンバー14名がゲストティーチャー(先生)となり、紙でつぼう・あやとり・めんこ・お手玉・おはじきを教えた。目を輝かせて真剣に遊ぶ子ども達。数十年前ぶりに二人あやとりをして楽しんだ私。子どもよりも、先生や大人が楽しんだ授業だった気がする。

青菅小学校では2月12日(金)に1・2年生、小竹小学校は1月27日(水)に1年生が地域の方や福祉委員とむかし遊びを行い、遊びの後は教室で給食を一緒に頂き楽しい二時を過ごした。

(広報事業部 K・S)



紙でつぼう



あやとり



おはじき



めんこ

自分達が米作りで作った 藁(わら)を使って 〓辻切り〓を作りました (小竹小学校)



先生の指導を受けて熱心に作業中



上手に出来た辻切りを手に先生方にお礼の言葉

1月20日(水)に、米作りに関わった5年生がその時の藁を使って魔除けの辻切り(オロチ)を作った。千葉県北部に伝わる民俗行事で、3〜5mと大きい大辻は悪病や災害が他の村から入ってこないように境界地点に祭り、1.5mくらいの小辻は各家の門に飾る。

地元ユーカリが丘1丁目の秋山宏行さんと、そのお仲間を先生にしてオロチ(小辻)を1人1匹ずつ作った。先生は6人、それに補助要員として田んぼで一緒に作業をした社協の人たちがお手伝いをした。お手伝いと言っても児童と一緒に、辻切りは初めてという人がほとんど。

手先の器用な児童は手伝う私よりもはるかに上手で、私が1匹作る間に2匹作った児童もいる。藁を編み、別に捩った(よじった)尻尾をつける。舌は唐辛子、目は白い布に綿の芯を入れて丸めマジックで目玉を書く。

春のような気温に恵まれ、当初予定していた体育館を日当たりの良い通路に変更。

実際の辻切りはオロチの目には五穀（粟）
 Ⅱあわ、稗Ⅱひえ、黍Ⅱきび、豆、米）
 を炒つて入れ、神社でお祓いを受けたお札
 を付ける。さらに柊（ひいらぎ）など棘の

ある葉を首に刺すという。

上手下手はあるけれど3時間、4時間
 目の2時限で全員が辻切りを完成させた。
 来年も米作りから辻切りまでが5年生の
 授業に組み込まれることになった。

（お手伝いした小網）

いつくるかわからない災害、備えが肝心です

「上座区会・防災訓練」に130余名が参加

2月20日（土）午前9時から志津小学
 校で上座地区7町会合同の防災訓練が行
 われた。2月に入って寒い日が続いているの

で天候を心配していたが、朝から晴れて暖
 かく、しかも風もなく絶好の訓練日和。
 乳母車に乗った幼児を含め約130名の方

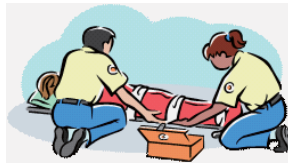
が参加した。体育館内で行われたAED
 の講習は、新型インフルエンザ予防のため人
 工呼吸など個別の体験は出来なかったが、
 消防署員の説明を受け熱心に質疑を行っ
 た。

その後、班ごとに分かれて初期消火訓
 練、震度7の地震体験、防災倉庫の備蓄
 品確認と取扱い訓練を行った。そしてプー
 ルの水を飲料水化して試飲、最後にアルフ
 アー米を試食して解散した。参加者からは
 「今後は救援の自衛隊も参加する、ユーカー
 リ・上座地区広域の訓練をして欲しい」
 という声も出ていた。

上座地区は町会の歴史があり既に訓練
 を数十回と続けているが、ユーカーが丘、
 宮ノ台、井野、そしてユーカー殖産の各地



体育館でAEDの使い方講習



消火訓練の前に消火器の構造説明
 後ろの車上では震度7の地震を体験中



「不審者対応訓練研修会」

2月12日（金）16時～ 志津小学校教室

（志津小学校職員18名・上座防犯パトロール8名・クライネスサービス7名）

平和なはずの小学校。もし授業中、
 突然不審者が教室に侵入してきたらど
 う対応すればいいのでしょうか・・・。
 考えただけでも恐ろしいことですが、
 そんな時の先生の為の研修が地域防犯
 パトロールの方々の見守る中、志津小学
 校で行われました。

佐倉警察から講師として招いた2人
 の職員の方から訓練の概要について話を
 聞いた後、先生方の役割分担（先生役
 と生徒役）を決め、早速訓練へと移り
 ました。不審者役の警察署員の方が刃
 物を持つて教室に侵入し、子どもを連
 れ去ろうとした、という設定でしたが、
 警察職員の方の迫真の演技に訓練とわ
 かつていても非常に恐怖感を覚えまし
 た。

その恐怖と向き合って、子どもたち
 を守る為の先生の対応（子どもたちを
 危険から遠ざける為避難する場所を
 明確に指示）、異常事態のなか気をつ
 けなければならぬのはどんなことか
 （不審者の特徴・服装等を覚えてお
 く）、マニュアルはあっても咄嗟のことに
 臨機応変に対応するのは非常に難しい
 ことがよくわかりました。

また、学校から110番通報があつ

た場合千葉県通信指令課から一斉に連
 絡が流れ、警察の全勢力を集中して現
 場に駆けつけてくれるとのこと。事件
 発生をいかに早く警察に知らせるかも
 非常に重要なことである・・・等、訓
 練の後の質疑応答の中で確認して研修
 は終わりました。



訓練後の熱心な質疑応答



ナイフを持った不審者役の警察署員
 との緊迫した訓練の様子

「スマイルサービス」事業スタートにむけて 要支援者サポートシステム検討委員会より答申書提出

2月6日(土)に開かれた理事会において、「スマイルサービス」事業創設答申書が要支援者サポートシステム検討委員会 横井委員長より提出され、坪松会長がこれを受理しました。

要支援者サポートシステム検討委員会は、平成20年11月に福祉委員会の承認を得て発足し、途中交代も含め13名の検討委員による15回の会議を経て、ようやく答申書の提出に至りました。この答申書の内容は3月の福祉委員会で報告され、その後は理事を中心に「スマイルサービス」の22年度スタートに向けていよいよ具体的な検討に入ります。



座談会&ブロック会議を開催(上座・第4ブロック)

上座1町会・上座7町会、ユーカーが丘、プレシオ南ユーカーが丘、ステーキシヨタワー 2月7日(日) 39名参加

上座地域で活躍している様々な団体の方に出席していただき座談会を開催しました。高齢者クラブの方から「会員が増えないのは名前が悪いからかな」とユーモアある意見の他に、各団体から課題(父親の参加を促す・後継者作りなど)や、地区社協のイベントに各団体にも協力してもらい参加する事で福祉に関心がもてるのでは?という貴重な意見もできました。

また、自治会代表として1年間参加した感想も話していただきました。

今後の課題として、100円喫茶の宣伝や福祉に関心をもってもらうキッカケ作りの必要性等がみえてきました。



「認知症を学ぶ」(サポーター養成講座)

1月23日(土) 志津コミュニティセンターにおいて開催された。参加者は34名(福祉委員以外6名含む)。

第1部は認知症発症の様々な原因と症状について、志津南部地域包括支援センター長の脇本英雄さんから詳細な説明を受けた。

認知症は発症しても記憶・理解判断力等の全ての機能が同時に喪失する事は無く保たれている機能が多い。障害の起きている機能を家族や地域の人々がサポートすれば一般生活への支障も少なく症状の進行も抑制できる事を実感。

第2部は若年性認知症を発症した奥様を17年間介護し続けている方(社) 認知症の人と家族の会千葉県支部世話人、内田勝也さん)の実体験談により認知症の進行状況・保たれ続ける人間性を伺い、近隣地域の私共がサポートすることにより患者及び家族を支援できる事の多さを知った。

(研修事業部)



志津南部地域包括支援センター
センター長 脇本英雄さん



(社) 認知症の人と家族の会
千葉県支部世話人 内田勝也さん



お待たせしました！

「100円喫茶 いきいきサロン カフェ・ユーカリ」活動再開



100円喫茶

新型インフルエンザの流行で、9月より活動を休止しておりました「100円喫茶」「いきいきサロン」「カフェ・ユーカリ」がいよいよ活動を再開いたしました。お休みの間には、「いつから再開するの?」「早く再開してほしい」といったありがたいお声を多数いただき、スタッフも今までの地道な活動がしっかりと地域に根付き、利用者の皆様にとって大切な場所となっていることに改めて気付くことができました。

12月16日に再開した100円喫茶「みんなの広場」では、京葉食品コンビニート様からいただいたケーキを切り分け、暖かいコーヒー、紅茶とともにいただきました。

久しぶりの100円喫茶再開に、会話も一段と弾んでいるようでした。



歌声喫茶「カフェ・ユーカリ」2月20日より再開

9月から約半年お休みしておりました「カフェ・ユーカリ」がついに再開いたしました。再開のお知らせがポスター掲示であったにもかかわらず会場はほぼ満席となる盛況ぶり。カフェ・ユーカリ立ち上げ当初からの常連さんにお話を伺ってみると「もう!! うれしくてうれしくて! い つもお友達を誘って来るんだけど、今日もご近所の方と来ました。歌集に私の好きな歌がたくさんあるからいい。来月も楽しみです。はい、これどうぞ」とアメとひとくちチョコをくださいました。また男性の方も「僕は上座から片道 25 分かけて歩いてくるんだ。往復すればいい運動だしみんなと一緒に大きな声出して歌うとストレス解消になる。お気に入り、あざみの歌、ふるさと、浜千鳥もいいね。」とのこと。カフェ・ユーカリはすっかり皆さまの中に定着して、なくてはならない交流の場となっていることを改めて感じました。どなたでも参加できますので、まだいらしたことのない方も**毎月第3土曜日 14:00 ~ 志津コミュニティセンター2F 大会議室**に是非一度遊びに来てください。おいしいコーヒーと手作りのお菓子を用意してお待ちしております。(参加費 200 円)



「100円喫茶」3月からの開催予定

開催場所	開催日時	3月	4月	5月	6月
かがやき喫茶 ユーカリが丘第1集会所 461-7923	第4火 13:30~15:30	23	27	25	22
ほほえみ喫茶 宮ノ台自治会館	第4火 13:30~15:30	23	27	25	22
わいわい喫茶 ユーカリ殖産自治会館 461-2589	第4土 13:30~15:30	27	24	22	26
ふれあいサロン ユーカリが丘五番町ハイツ集会所	第3金 10:00~12:00 ※曜日と時間に変更になりました	19	16	21	18
さわやかプラザ ユーカリが丘第2集会所	第2金 13:30~15:30	12	9	14	11
憩いの場ふれあい喫茶 上座集会所	第2水 10:00~15:00	11 (第2木)	14	12	9
みんなの広場 志津コミュニティセンター	第3水 13:30~15:30	17	21	19	16

問い合わせ先 事務局043-460-1781

いきいきサロン

ユーカリが丘地区社協では 高齢者福祉事業の一環として、地域の皆様方の出会いふれあい楽しい憩いの場になればと「いきいきサロン」を志津コミュニティセンター(第1金)と宮ノ台自治会館(第3金)の2箇所毎月1回開いております。参加対象は概ね 75 歳以上の方で身の回りの事がご自分でできる方です。是非お気軽にご参加ください。今後の開催日程については次号で詳しくお知らせいたします。

(問い合わせ先 事務局 043-460-1781)

編集後記

春は、入学と卒業、希望と別れに涙する季節でもあります。

60数回目の春を迎える私自身にとっての、一番の関心事は、家族を含めての健康です。皆さん、それぞれにライフスタイルに合わせた健康法を工夫されているようです。

簡単に長続きする方法でないといけませんね。

さあ、私も明日から、ラジオ体操と30分の散歩をやってみようかな?

(K.Y.)

歳末たすけ合い共同募金
ご協力ありがとうございました

去る12月1日(火)夕

方、ユーカリが丘駅改札前およびサティ入口において「歳末たすけあい」共同募金活動を行いました。

福祉委員と佐倉西高校の生徒とで計32名が、道行く人に募金を呼びかけ合計39,519円が集まりました。

ご協力ありがとうございました。

